



Hewlett Packard
Enterprise

Red Hat Enterprise Linux 8.4

Supplement for Service Pack for ProLiant 2021.05.0

リリースノート

2021年7月

法律および通知情報

© Copyright 2015-2017 Hewlett Packard Enterprise Development LP

ドキュメント履歴:

リリース日	説明
2021年7月	最終版

目次

概要	4
アップデートの推奨事項.....	4
整合性.....	4
変更の概要	4
重要な注意	4
リリースの概要	5
前提条件	5
Linux上でのSUMの実行.....	5
展開の手順	6
コンポーネントリリースノート.....	6
コンテンツレポート.....	11

概要

Service Pack for ProLiant (SPP)サブプリメントは、展開ツールとしてSUMを含むソフトウェアおよび/またはファームウェアコンポーネントを含めたバンドルです。SPPのコンポーネントと連動していない新しいオペレーティングシステムのアップデートまたはSPPに含まれていない機能をサポートすることが可能です。サブプリメントに含まれるソフトウェアおよびファームウェアは、通常のSPPのリリースサイクル外で必要とされる機能のサポートを提供します。サブプリメントは、必要なときにHPEがドライバーのサポートを提供することができるため、カスタマーは完全なSPPが利用可能になるのを待つ必要がなくなります。

各SPPサブプリメントのバージョン番号は、対応するSPPのバージョンと一致しています。サブプリメントのリリースノートが提供され、バンドル内のコンポーネントに関する情報が記載されます。サブプリメントのコンテンツがLinuxコンポーネントを含む場合、コンポーネントはLinux Software Delivery Repository (SDR)でも利用可能です。

いったんリリースされたら、SPPサブプリメントのコンテンツの機能が次の利用可能なSPPに含まれます。

SPPに関連付けられたホットフィックスは、SPPサブプリメントでも動作します。ホットフィックスが、サブプリメントでサポートされているオペレーティングシステムをサポートしているかどうかを確認してください。SPPホットフィックスの詳細については、[SPP Information Libraryページ](#)にあるSPPのリリースノートを参照してください。

これは、Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 8.4 Supplement for Service Pack for ProLiant 2021.05.0です。

RHEL 8.4でサポートされるサーバーについて詳しくは、以下のOSサポートサイト<https://www.hpe.com/servers/ossupport>を参照してください。

製品名	コメント
RHEL8.4 Supplement for SPP バージョン 2021.05.0	ソフトウェアコンポーネントを含むバンドル ファイル名: supspp-2021.05.rhel8.4.en.tar.gz

アップデートの推奨事項

オプション - ご使用のシステムが記載された修正に影響する場合、またはこのバージョンで提供される拡張機能を使用する場合、このバージョンにアップデートする必要があります。

整合性

Service Pack for ProLiant 2021.05.0

変更の概要

重要な注意

この文章全体で使用されているサブリメント、Service Pack for ProLiantまたはSPPの用語は、明示的に述べない限り、概要セクションの表の配布物のすべてを示しています。

- ⚠ 任意のコンポーネントをシステムにインストールする前に、インストール手順で問題が発生した場合にシステムの最新のバックアップが利用できることを確認してください。

リリースの概要

このRed Hat Enterprise Linux (RHEL) 8.4 Supplement for Service Pack for ProLiantのリリースの概要は以下のとおりです。

Red Hat Enterprise Linux 8.4のサポートを追加しました。

このサブリメントは、SPP 2021.05.0に対応しています。SPP 2021.05.0に付属するドライバーか、RHEL 8.4ディストリビューションで提供されるドライバーのいずれかを使用できます。ただし、最初のリリース(SPP 2021.05.0)に付属するドライバーには、このサブリメントで利用できるHPEの追加機能の一部が含まれていないことがあります。これらの機能は将来のSPPリリースで追加されます。

このService Pack for ProLiant (SPP)で提供されるすべてのコンポーネントは、一緒にテストされ、Service Pack for ProLiant内の他のコンポーネントの依存関係を満たしています。

以下の製品に同梱されているソフトウェアとファームウェアコンポーネントを使用しているシステムは、簡単にこのサブリメントのコンポーネントに移行することができますようになります。

製品	バージョン
Service Pack for ProLiant	2021.05.0
	2020.09.1
	2020.03.2

注記: systemdメッセージコンソールに"thawing (解凍中)"状態と表示される場合があります。これは、特にサービスの再起動またはリロードの後、systemdでデフォルト値が正しく設定されないためです。

前提条件

Linux上でのSUMの実行

- ⚠ インストール処理に失敗したときのために、ターゲットシステムにソフトウェアアップデートをインストールする前に、ターゲットシステムの最新のバックアップがとられていることを確認してください。

LinuxオペレーティングシステムのリモートターゲットシステムでSUMを正常に展開するには、以下が利用可能であることが必要です。

- libcrypt.so
- libcrypt.so.1
- /usr/lib/libqsdm.so
- /usr/lib64/libqsdm-x86_64.so
- /lib/cim/libqsdm.so
- /usr/lib/libemsdm.so

- /usr/lib64/libemsdm.so
- /lib/cim/libemsdm.so
- /usr/lib/bfahbaapi.so
- /usr/lib64/bfahbaapi.so
- /lib/cim/bfahbaapi.so
- linux-vdso.so.1
- /lib64/libcrypt.so.1
- /lib64/libpthread.so.0
- /lib64/libz.so.1
- /lib64/libdl.so.2
- /lib64/librt.so.1
- /usr/lib64/libstdc++.so.6
- /lib64/libm.so.6
- /lib64/libgcc_s.so.1
- /lib64/libc.so.6
- /lib64/ld-linux-x86-64.so.2

展開の手順

このサブリメントは、オペレーティングシステムのインストール後に使用するよう設計されています。これにより、ドライバーのアップデートと、HPEユーティリティ(ヘルスやiLOドライバーなど)およびエージェント(サーバー、NIC、およびストレージ)のインストールが可能になります。

サポートされているLinuxオペレーティングシステム上でSPPサブリメントおよびそれに対応するSPPを使用することにより、標準のLinuxインストールツール(YUM/Zypper)またはHPE管理ツール(SUM/OneView)のいずれかを選択して以下のことを実行できます。

- サブリメントおよびSPPで提供されているソフトウェアおよびファームウェアを使用します。
- SPPで提供されているファームウェアを使用し、Software Delivery Repository <https://downloads.linux.hpe.com/SDR>からソフトウェアを入手します。
- SPPで提供されるファームウェアおよびソフトウェアユーティリティと、オペレーティングシステムのディストリビューションから入手可能なドライバーを使用します。

コンポーネントは所定の展開に応じて、SUMカスタムベースラインを使用して単一のISOに組み合わせたり、別のパッケージとして適用したりできます。

注記：Gen10 iLO 5 LinuxおよびiLO 5ノードのみ-iLOレポジトリを管理するには、[iLOレポジトリオブション]タブを選択します。(SUMをGUIモードで実行する場合)。

選択したコンポーネントをiLOレポジトリにアップロードし、インストールセットを作成するには、コンポーネントをインストールセットとしてiLOレポジトリに保存を選択します。SUMによって自動的に名前と説明が作成されますが、インストールセットの名前と説明を編集することができます。このインストールセットを使用して、今後、サーバーコンポーネントをロールバックできます。名前と説明は63文字に制限されており、使用できる特殊文字は-と_だけです。

コンポーネントリリースノート

[ドライバー - ストレージコントローラー](#)

[ソフトウェア - Lights-Out マネジメント](#)

[ソフトウェア - システム マネジメント](#)

ドライバー - ストレージコントローラー

[先頭](#)

HPE Dynamic Smartアレイ B140i SATA RAIDコントローラー ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8 (64ビット)

バージョン: 1.2.10-196 (推奨)

ファイル名: kmod-hpdsa-1.2.10-196.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hpdsa-1.2.10-196.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hpdsa-1.2.10-196.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-hpdsa-1.2.10-196.rhel8u4.x86_64.rpm

改善点

Red Hat Enterprise Linux 8.4のサポートを追加しました。

HPE ProLiant Gen10およびGen10Plus Smartアレイコントローラー(64ビット) ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8 (64ビット)

バージョン: 2.1.12-025 (推奨)

ファイル名: kmod-smartpqi-2.1.12-025.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-smartpqi-2.1.12-025.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-smartpqi-2.1.12-025.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-smartpqi-2.1.12-025.rhel8u4.x86_64.rpm

重要な注意!

-

修正

- scsi-mid-layerが公開されたホストキューの深さを超える要求を送信すると、ファームウェアASSERTの問題が発生する場合があります。この問題は、Linuxカーネルバージョン5.5以降で発生する可能性があります。
- 次のエラーメッセージが表示される場合があります: 'Synchronize Cache(10) failed: Result: hostbyte=DID_NO_CONNECT driverbyte=DRIVER_OK'。これは、HBA SAS/SATAディスクで有効になっているドライブ書き込みキャッシュに対する未処理のI/Oがあるドライバーをアンロードするときに発生します。
- I/O要求がUREにヒットすると、SmartPath読み取りI/O要求にアクセスエラーが発生し、データが返されない場合があります。

改善点

- HPE SR932i-pおよびSR416-a Gen10+コントローラーのサポートを追加しました。
- RHEL8.4 OSのサポートを追加しました。

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 8 (64ビット)カーネルは、次のとおりです。

-デフォルト- Red Hat Enterprise Linux 8 Update 0 (64ビット)

HPE ProLiant Smartアレイコントローラー(64ビット) ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8 (64ビット)

バージョン: 3.4.20-208 (推奨)

ファイル名: kmod-hpsa-3.4.20-208.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hpsa-3.4.20-208.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hpsa-3.4.20-208.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-hpsa-3.4.20-208.rhel8u4.x86_64.rpm

改善点

Red Hat Enterprise Linux 8.4のサポートを追加しました。

ソフトウェア - Lights-Out マネジメント

先頭

HPE Lights-Out オンライン設定ユーティリティ for Linux (AMD64/EM64T)

バージョン: 5.6.0-0 (オプション)

ファイル名: hponcfg-5.6.0-0.x86_64.compsig; hponcfg-5.6.0-0.x86_64.rpm

前提条件

このユーティリティは、以下の最小ファームウェアバージョンを必要とします。

- Integrated Lights-Out 3ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 4ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 5ファームウェアバージョン1.20以降

マネジメントインターフェイスドライバーおよびマネジメントエージェントはサーバーに必ずインストールされていなければなりません。

iLO 5の場合は、上記のパッケージに加え、openssl v1.0.x以降が必要です。

opensslを手動でコンパイルおよびインストールしたり、意図的に/usr/bin/opensslを再配置している場合は、PATH環境変数を設定し、正しい意図したopensslにHPONCFGをダイレクトする必要があります。

修正

複数の64ビットopensslがインストールされている場合、HPONCFGがopensslライブラリを検出できないという問題を修正しました。

改善点

製品名をHPE Lights-Outオンライン構成ユーティリティ for Linux (AMD64/EM64T)にアップデートしました。

ソフトウェア - システムマネジメント

先頭

Agentless Management Service (iLO 5) for Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン: 2.4.1 (オプション)

ファイル名: amsd-2.4.1-1571.8.rhel8.x86_64.compsig; amsd-2.4.1-1571.8.rhel8.x86_64.rpm

前提条件

- amsdは、HPE Gen10/Gen10 Plusサーバー上のみでサポートされています。
- amsdは、SNMPサポートを提供しているiLO 5サービスに情報を提供します。
- 要件:
 - 最低限必要なiLO 5ファームウェアバージョン = 1.1
 - サポートされる最小OSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 8

修正

以下を修正しました:

- カスタマーアドバイザー[a00053824en_us](https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00111063en_us)で概説されている少量のメモリリークに対処しました。
- smadからユーザーに次の報告が定期的発生する場合があります: No response from iLO for Hello. iLOとの接続が失われた後、再接続を試行するためにサブエージェントのCPU使用率が高くなる可能性があります。この問題はカスタマーアドバイザーhttps://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00111063en_usに文書化されています。
- AMSD構成がエージェントモードである間、cpqldeサービスを開始できません。
- 一部のコーナーケースでのバッファオーバーフローの問題に対処しました。

改善点

このリリースでは、以下の機能強化が行われています。

- iLOとの堅牢な通信を強化します。拡張機能には、適切なプロセスが存在し、OS信号の処理があります。
- SMAログインシステムを強化して、通信イベントの記録を改善します。
- AMSDIは、非同期情報を回避するために、Open NICコントローラーSNがiLOと連携することを報告します。

HPE ProLiant Agentless Management Service for Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン: 2.10.2 (オプション)

ファイル名: hp-ams-2.10.2-876.6.rhel8.x86_64.compsig; hp-ams-2.10.2-876.6.rhel8.x86_64.rpm

前提条件

- hp-amsは、HPE ProLiant Gen8およびGen9サーバーでサポートされています。
- hp-amsは、SNMPサポートを提供しているHPE iLO 4サービスに情報を提供します。
- HPE iLO 4上でSNMPパススルーを無効にして、SNMPがHPE iLO 4上で構成されている必要があります。HPE iLO 4は、これらの設定を変更した後にリセットする必要がある場合があります。
- 要件:
 - 最低限必要なHPE iLO 4ファームウェアバージョン = 1.05
 - 最低限必要なOSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 5.6、Red Hat Enterprise Linux 6.0、SuSE Linux Enterprise Server 10 SP4、SuSE Linux Enterprise Server 11 SP1

修正

以下を修正しました:

- カスタマーアドバイザリ[a00053824en_us](#)に文書化されている少量のメモリリークに対処しました。
- NVMeドライブ情報がCPQSEで利用できるようになりました。

HPE SNMPエージェントfor Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン: 10.9.2 (オプション)

ファイル名: hp-snmp-agents-10.92-679.6.rhel8.x86_64.compsig; hp-snmp-agents-10.92-679.6.rhel8.x86_64.rpm

前提条件

hp-healthおよびhp-snmp-agentsは、x86_64環境では32ビットアプリケーションとして起動します。Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-snmp-agentsに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のように入力します:

```
rpm -qp --requires hp-snmp-agents-<version>.rpm
```

修正

以下を修正しました:

- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプターがサポートされていないと表示される問題に対処しました
- データベース内の無効なutf8mb4文字を修正しました

HPEシステムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティfor Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン: 10.9.2 (オプション)

ファイル名: hp-health-10.92-5.5.rhel8.x86_64.rpm

前提条件

hp-healthおよびhp-snmp-agentsは、x86_64環境では32ビットアプリケーションとして起動します。Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-healthに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp -requires hp-health-< version >.rpm
```

修正

以下を修正しました:

- HPE Software Delivery Repository (SDR)サイトに対してクエリを実行し、障害が発生したときに、amsdがsegfaultを表示しなくなりました。
- 非セキュアなブート環境でhp-healthサービスがクラッシュしなくなります。

HPE System Management Homepage for Linux(AMD64/EM64T)

バージョン: 7.6.7-1 (クリティカル)

ファイル名: hpsmh-7.6.7-1.x86_64.rpm

重要な注意!

SMH 7.6.0以降のバージョンはGen 8およびGen 9サーバーのみをサポートします。将来のすべてのパッチリリースはSMH Webページ上でのみ行われます。HPE SMH [リリースノート](#)を参照してください。

Linux OSのユーザー用のご注意

- パスワードファイルの編集またはその他の方法により、"hpsmh"ユーザー(インストール中に作成)にログインアクセスを提供しないでください。
- "hpsmh"グループ(インストール中に作成)にユーザーを追加しないでください。

前提条件

SMHソフトウェアをインストールする前に、RPMが必要なバージョンのLinuxライブラリの依存関係が存在するかどうかを確認します。依存関係が見つからない場合、欠落した依存関係のリストが提供されます。ユーザーはRPMをインストールする前に、すべての必要な依存関係を手動でインストールして、前提条件を満たす必要があります。

修正

- jqueryをバージョン3.6.0 (CVE-2020-11022 & CVE-2020-11023) にアップデートしました

HPE System Management Homepageテンプレートfor Linux

バージョン: 10.8.1 (オプショナル)

ファイル名: hp-smh-templates-10.8.1-1487.3.noarch.rpm

前提条件

すべての依存関係がインストールされていないと、**hp-smh-templates** RPMインストールが失敗します。管理者は、このコマンドを実行することにより、必要な依存関係の一覧を検証できます。yumまたはzypperにより使用されているリポジトリにこれらの依存関係が含まれている場合は、インストールツールにより自動的に取得されます。ただし、存在しない場合は、RPMのインストールに進む前に、ユーザーが主導でインストールする必要があります。

hp-smh-templatesのすべての依存ファイルのリストを取得するには、次のように入力します。

```
rpm -qp --requires hp-smh-templates-<version>.rpm
```

修正

Red Hat Enterprise Linux 8 Serverの初回サポートです

コンテンツレポート

RHEL8.4 Supplement for SPPのコンテンツ

次の表は、このRHEL8.4 Supplement for SPPのすべてのソフトウェアとファームウェアの一覧です。この成果物について詳しくは、www.hpe.com/servers/spp/downloadを参照してください。

製品 カテゴリ	コンポーネントタイトル	バージョン	リリース 日	ファイル名
アプリケーション - システムマネジメント	Integrated Smart Update Tools for Linux x64	2.8.0.0	2020年 6月27日	sut-2.8.0- 26.linux.x86_64.rpm
ドライバー - ストレージコントローラー	HPE ProLiant Gen10および Gen10Plus Smartアレイコントローラー(64ビット)ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8 (64ビット)	2.1.12-025	2021年 6月3日	kmod-smartpqi-2.1.12- 025.rhel8u3.x86_64.rpm kmod-smartpqi-2.1.12- 025.rhel8u4.x86_64.rpm
ドライバー - ストレージコントローラー	HPE Dynamic SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラードライバー for Red Hat Enterprise Linux 8 (64ビット)	1.2.10-196	2021年 6月6日	kmod-hpdsa-1.2.10- 196.rhel8u4.x86_64.rpm kmod-hpdsa-1.2.10- 196.rhel8u3.x86_64.rpm
ドライバー - ストレージコントローラー	HPE ProLiant Smartアレイコントローラー(64ビット)ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8 (64ビット)	3.4.20-208	2021年 6月6日	kmod-hpsa-3.4.20- 208.rhel8u4.x86_64.rpm kmod-hpsa-3.4.20- 208.rhel8u3.x86_64.rpm
ソフトウェア - システムマネジメント	Agentless Management Service (iLO 5) for Red Hat Enterprise Linux 8 Server	2.4.1	2021年 2月4日	amsd-2.4.1- 1571.8.rhel8.x86_64.rpm
ソフトウェア - システムマネジメント	HPE ProLiant Agentless Management Service for Red Hat Enterprise Linux 8 Server	2.10.2	2020年 11月7日	hp-ams-2.10.2- 876.6.rhel8.x86_64.rpm

ソフトウェア - システムマ ネジメント	HPE System Management Homepage for Linux(AMD64/EM64T)	7.6.7-1	2021年 5月8日	hpsmh-7.6.7- 1.x86_64.rpm
ソフトウェア - システムマ ネジメント	HPE System Management Homepageテンプレートfor Linux	10.8.1	2019年 2月15日	hp-smh-templates- 10.8.1- 1487.3.noarch.rpm
ソフトウェア - システムマ ネジメント	HPEシステムヘルスアプリケー ションおよびコマンドライン ユーティリティfor Red Hat Enterprise Linux 8 Server	10.9.2	2019年 11月21日	hp-health-10.92- 5.5.rhel8.x86_64.rpm
ソフトウェア - システムマ ネジメント	HPE SNMPエージェントfor Red Hat Enterprise Linux 8 Server	10.9.2	2020年 6月7日	hp-snmp-agents-10.92- 679.6.rhel8.x86_64.rpm
ソフトウェア - Lights-Outマ ネジメント	HPE Lights-Outオンライン設定 ユーティリティfor Linux (AMD64/EM64T)	5.6.0-0	2020年 6月27日	hponcfg-5.6.0- 0.x86_64.rpm
ソフトウェア - ドライバー アップデート	HPE Dynamic SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラードラ イバー for Red Hat Enterprise Linux 8 (64ビット)	1.2.10-196	2021年 6月6日	